

ベルリン日独センター
国際交流基金

日程案

日独シンポジウム

クライシスコミュニケーションの今——日独の視座

東日本大震災から10年

2021年2月4日(木)、ウェブ会議

日本標準時 17 時～19 時／中欧標準時 9 時～11 時

日本標準時／中欧標準時

会議言語: 日本語およびドイツ語(同時通訳つき)

16:30/8:30 Zoom 待機室から会場へのご案内開始

16:55/8:55 ウェブ会議進行に関する説明

17:00～17:10 開会の挨拶

9:00～9:10

17:00/9:00 ユリア・ミュンヒ(Dr. Julia MÜNCH、ベルリン日独センター事務総長)ベルリン

17:05/9:05 相澤啓一(Prof. Dr.、国際交流基金ケルン日本文化会館館長)ケルン

17:10～17:30 基調講演「危機時のコミュニケーションにおける専門家の役割」

9:10～9:30

司会: ヤーコブ・ジンマンク(Dr. med. Jakob SIMMANK、ツァイト・オンライン、科学ジャーナリスト)ベルリン

西浦博(Prof. Dr.、京都大学大学院医学研究科・医学部環境衛生学教授)京都

メラニー・ブリンクマン(Prof. Dr. Melanie BRINKMANN、ブラウンシュヴァイク工科大学遺伝学研究所教授&ヘルムホルツ感染症研究センター「ウイルス免疫制御」研究グループ長)ブラウンシュヴァイク

17:30～19:00

パネルディスカッション

9:30～11:00

「新型コロナウイルス感染症をはじめとする危機をどう伝えるか——日本とドイツの経験」

司会: ヤーコブ・ジンマンク (Dr. med. Jakob SIMMANK、ツァイト・オンライン、科学ジャーナリスト) ベルリン

パネリスト

関谷直也 (Prof.、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授) 東京

アニカ・シャッハ (Prof. Dr. Annika SCHACH、ハノーファー応用科学&芸術大学メディア・情報・デザイン学部情報コミュニケーション学科教授) ハノーファー

コンスタンツェ・ロスマン (Prof. Dr. Constanze ROSSMANN、エアフルト大学コミュニケーション学教授 (専門: ソーシャルコミュニケーション) および実証研究室副室長) エアフルト

塩崎彰久 (長島・大野・常松法律事務所パートナー) 東京

質疑応答

19:00/11:00

閉会